

山元都市計画下水道の変更
(山元町決定)

参考図書

平成 29 年度

宮城県 山元町

(参 考)

山元都市計画下水道の変更
(山元町決定)

1. 下水道の名称 山元町特定環境保全公共下水道

2. 排水区域

赤字：変更前

(汚水)

黒字：変更後

名 称	面 積	備 考
山元町特定環境保全公共下水道	約 6 2 2 h a	約 6 2 2 h a
	約 5 2 8 h a	山元処理区 約 5 2 8 h a

「区域は総括図表示のとおり」

3. 下水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
放流渠	やまもとちょうやまであざひがしどろぬま 山元町山寺字東泥沼	やまもとちょうやまであざかわひがしはたあい 山元町山寺字川東畑合	汚水 延長 約 180m
第2放流渠	やまもとちょうやまであざひがしどろぬま 山元町山寺字東泥沼	やまもとちょうやまであざかわひがしはたあい 山元町山寺字川東畑合	汚水 延長 約 380m

「区域は総括図表示のとおり」

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
山元浄化センター	やまもとちょうやまであざかわひがしはたあい 山元町山寺字川東畑合	汚水 面積 約 19,000m ²

「区域は総括図表示のとおり」

都市計画を変更する土地の区域

排水区域（汚水）

追加する区域

市町村名	大字	小字
やまもとちょう 山元町	おおだいら 大平	よこやま しんたいら 横山、新平の一部の区域
	こだいら 小平	きた みなみ 北、南の一部の区域
	やまでら 山寺	ものみばし きたつつみ ひがしどろぬま やらいやま つつみやま がんだ がんごや 物見橋、北堤、東泥沼、矢来山、堤山、雁田、雁小屋 の一部の区域
	あそうはら 浅生原	さくだやま ひなた しんたてまえ たなか かみにいだ しもみやまえ 作田山、日向、新館前、田中、上新井田、下宮前の 一部の区域
	たかせ 高瀬	すぎだ きたなか すか 杉田、北中須賀の一部の区域
	さかもと 坂元	まち よりそ おおはた にほんすぎ 町、寄曾、大畑、二本杉の全部の区域 はくさんざか きたこし かみきたこし よりしょ おおやま もとてら ふるでら いどさわ 白山坂、北越、上北越、寄所、大山、元寺、古寺、井戸沢、 みちあい まちひがし たてした にしだ むかいやま なみまつ ながさく てらまえ 道合、町東、館下、西田、向山、並松、永作、寺前、 しもやち しもにしやち かみにしやち からほり たけのうち おっこし 下谷地、下西谷地、上西谷地、空堀、竹ノ内、追越、 やまさく きつねづか くまのさく ひがしやち しんてらまえ 山作、狐塚、熊ノ作、東谷地、新寺前の一部の区域

削除する区域

市町村名	大 字	小 字
やまもとちょう 山元町	はでにわ 八手庭	やしき いしだ きたむかい まえだ 屋敷、石田、北向、前田の一部の区域
	おおだいら 大平	ぼ ぼ 馬場の全部の区域 たてのうち にぎり たてやま はたけなか みやまえ いしだ といした しみず 館ノ内、握、館山、畑中、宮前、石田、樋下、清水、 はら み その 原、味噌野の一部の区域
	こだいら 小平	きた みなみ たて たてまえ 北、南、館、館前の一部の区域
	やまでら 山寺	きたどろぬま ひがしどろぬま ひがしはあい はま がん だ あかさか ふるやしき 北泥沼、東泥沼、東畑合、浜、雁田、赤坂、古屋敷、 ぬまた ものみばし ものみまえ しんものみまえ いなみ こ や ち どろぬま 沼田、物見橋、物見前、新物見前、稲実、小谷地、泥沼、 かわひがし しらかわ す か まちひがし きたかしらなし にしかしらなし 川東、白川、須賀、町東、北頭無、西頭無の一部 の区域
	わしあし 鷺足	やまぎき ま ないたばし きたなかえ みなみなかえ きた なか なかじま くぬぎ 山崎、真魚板橋、北中江、南中江、北、中、中島、榎 だ なかすじ よこた たけの はな なかみち 田、中筋、横田、竹ノ花、中道の一部の区域
	あそうはら 浅生原	ひなた しんたてまえ みちした すなおし 日向、新館前、道下、砂押の一部の区域
	たかせ 高瀬	にしきた や ち にしすか てんのうがわ きたなかす か うめだ みなみこうど 西北谷地、西須賀、天王川、北中須賀、梅田、南耕土、 かみつちとりぼ かつせんはら ふるやち かさの あかさか はますな すわ 上土取場、合戦原、古谷地、笠野、赤坂、浜砂、諏訪 ばら はながさ 原、花笠の一部の区域

変更理由書

山元町の下水道は、特定環境保全公共下水道として整備されており、昭和 54 年に下水道法の事業認可を受けてから、着実に整備を進め、平成 5 年度に供用開始した。

現在は、平成 25 年度に受けた都市計画事業認可（計画面積 502 h a）に基づき整備を進めており、平成 27 年度末で整備面積 386 h a、整備率約 77%となっている。

山元町では、平成 23 年の津波により壊滅的な被害を受けた沿岸部の住宅地を、山側に移設された JR 常磐線の山下、坂元の二つの新駅周辺に既存集落との連携を考慮しながら確保することになった。このため、土地利用計画に合わせて沿岸部の一部区域を処理区域から削除する。また新市街地が整備された坂元地区は現在農業集落排水事業により、汚水処理がなされているが、施設の老朽化が著しいため、公共下水道によりすべく処理区域に追加する。また、未整備の区域において、整備手法の効率化等を検討し、一部区域の修正を行う。